

KITANO
きたの広報

TOPICS

デイ・サージャリー室がオープンしました

2023年1月4日より本館3階に新しく手術室(デイ・サージャリー室:DS)をオープンしました。まずは眼科手術での運用から始め、面積はもとの眼科手術室の約2倍で2室から構成されており、眼科手術は局所麻酔、全身麻酔、日帰りから入院まですべてDSで行います。

Head up surgery system、眼内内視鏡、イメージガイドシステムVERION、術中屈折解析装置ORAなど最新の機器を装備し、白内障、緑内障、網膜硝子体疾患と幅広い疾患に対して週3日手術を行っています。新たな環境でなお一層精進してまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。



デイ・サージャリー室

土曜日は毎週休診日になります

これまで第1・3・5土曜日は外来診察を行ってまいりましたが、2023年4月1日より毎週休診日になります(小児外科外来・漏斗胸外来を除く)。土曜日にご来院されると救急外来での対応となりますのでご了承ください。

寄附者一覧(2022年11月)

【法人】 匿名:7社様

【個人】 東條 一仁様 高田 正利様 吉永 ヒトミ様 松本 明様 発 剛士様 菅 敏正様
岩山 幸子様 藤田 功様 匿名:3名様

QUESTIONNAIRE

読者アンケート募集!

「きたの広報」では、読者の方からのご意見・ご感想を募集しています。ご意見・ご感想は、QRコード*を読み取りいただき、アンケートフォームより送信してください。皆さまの“知りたい!”にお応えできるよう精進いたします。

*QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

ご意見・ご感想を
お待ちしております



公式Twitterを
ご覧ください



お気軽にフォロー
してください。



https://twitter.com/kitano_koho

公式Facebookを
ご覧ください



スマートフォンから
カンタンにアクセス
いただけます。



LINE友達のご登録を
お願いします



北野病院からの
お知らせなどを配信
させていただきます。



新体制で臨む

医学研究所北野病院の未来





稲垣 暢也

理事長



研修医時代を過ごした
北野病院で仕事ができるのは
この上ない喜びです。

Good

2022年10月1日から公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院の理事長に着任しました稲垣暢也です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、1984年に京都大学医学部を卒業しました。偶然にも、秦病院長とは同級生です。この北野病院には研修医として勤務し、その後、医員としても1年間働いた経験があります。ちょうど医師になりたての頃で、この時の日々のすべてが臨床医としての私の礎になっています。つまり、北野病院は私にとって育ての親のような存在

であり、非常に愛着のある病院です。

専門である「糖尿病・内分泌・栄養内科学」の研究と臨床を究めながら、2008年以降は京都大学附属病院において病院長補佐、副病院長、病院長、そして臨床研究の一大拠点である先端医療研究開発機構の機構長を務めさせていただきました。これらを通じて学んだ病院運営や組織統括の経験をもとに、再びこの北野病院で仕事ができるのは大変な喜びであり、これからがんばっていきたくと考えております。



秦 大資

病院長

患者さんのために。地域のために。
稲垣理事長と二人体制で
より良き方向をめざしていきます。

for future.

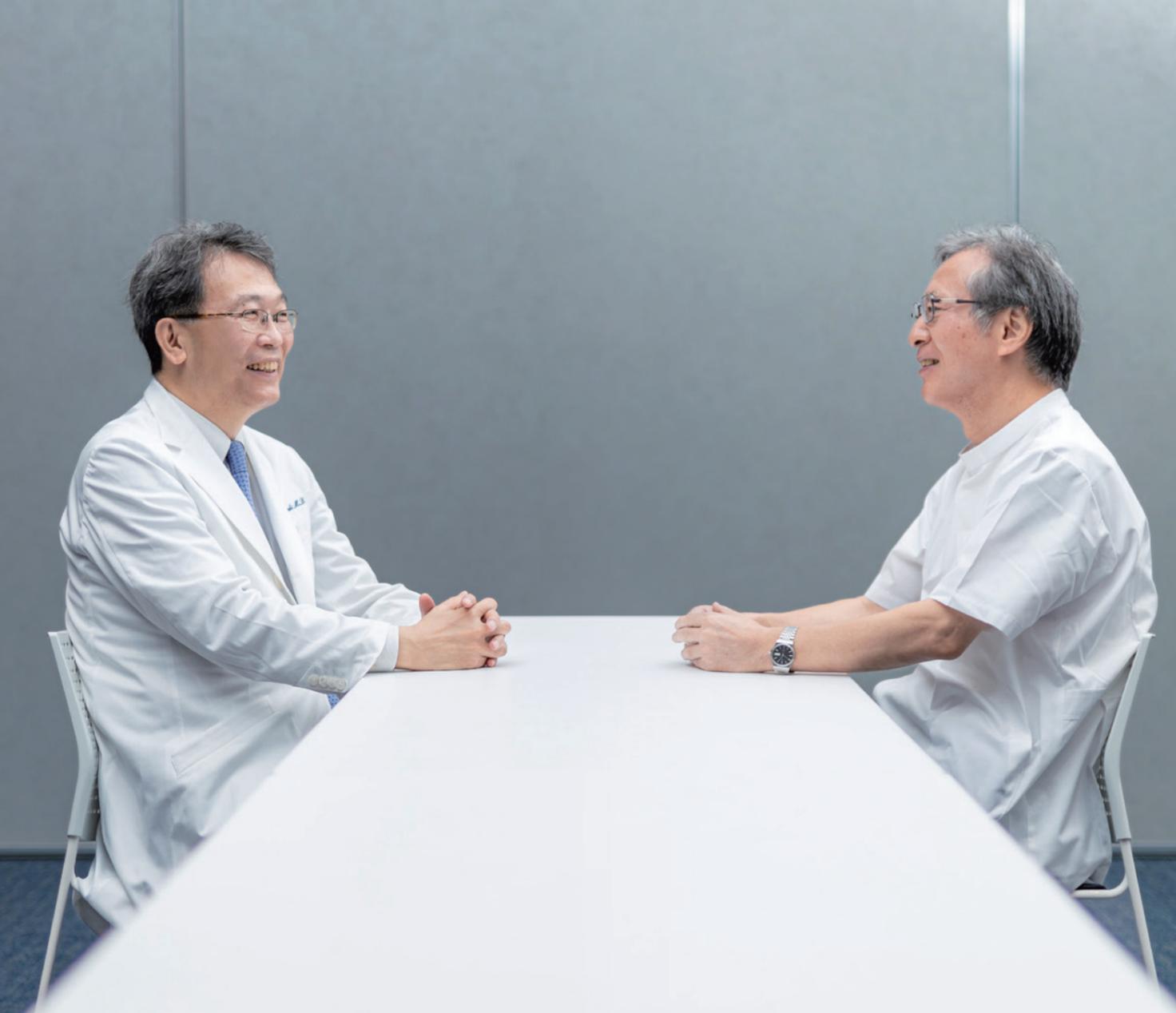


2022年10月1日から病院長に就任しました秦大資です。私は、大学卒業後の20年間はさまざまな病院での勤務を経験し、北野病院には2002年に小児科部長として着任いたしました。

小児科部長の時代には、小児科ではすべての病気を診る必要があるため、専門医に多く集まってもらい専門性の高い小児診療を可能にできました。また、小児は夜間の発熱なども頻発するため、救急医療にも力を注ぎ、24時間365日受け入れられる体制を実現し、ほぼ100%の患者

さんを断りなく受け入れる「断らない医療」をみんなと力を合わせて実践してきました。10年前に副院長に就任してからは「断らない医療」を成人領域にも広げられるように取り組んできたところです。

北野病院は、「大阪に、最新で最良・最善の医療を届ける」ことが責務です。稲垣先生に理事長としてお越しいただきましたので、一緒に力を合わせて、北野病院がさらに良き方向へ向かっていくように力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



原点に回帰し、めざすべき未来像を描く

稲垣：北野病院らしさを考えるときに、歴史と体制を抜いては語れないものがあります。はじめは、大阪の実業家であった田附政次郎さんが京大病院で胸の治療を受けて病を癒やされた。そのことに感謝をされて、学術や研究に役立ててくださいと多額の寄付をされました。それによって京都帝国大学医学部内に田附興風会医学研究所がつくられたんですね。

秦：そうです。そして田附さんの「大阪市民に最新医学の恩恵を与えん」というご希望によって、研究所に付設する病院が大阪に設置されることになり、それが北野病院というわけです。

稲垣：つまり、成り立ちからすると医学研究所北野病院は京大医学部の附属病院という位置付けです。こうした経緯も

あって、これまでも北野病院の理事長は京大医学部の部長が非常勤で務めてこられました。しかしながら、今や医療や病院運営は多岐にわたり、複雑化しています。ガバナンスの強化を含めて常勤の理事長を置こうということで私が着任し、京大医学部長に副理事長に就いていただいて、二人が代表理事になる新体制が2022年からスタートしました。

秦：田附さんのご希望であった「大阪市民に最新医学の恩恵を与えん」は、北野病院の指針であり続けています。それに加えて、我々は一人ひとりの患者さんにとっての「最良で最善の」医療を届けることを大切にしていきたいと考えています。

稲垣：最新で最良・最善の先進医療を患者さんのもとにお届けするためには、やはり人材育成も重要です。田附さんのご意志を引き継ぐためにも、新体制のもと、京大と密に連携しながら人事交流の面でも進めていき

たいと考えています。医師だけでなく、医療スタッフも含めて専門性の高い、高度な技術を有して、かつ倫理観の高い医療人を育成していくことは北野病院の使命のひとつです。また、北野病院は、医学研究のために貢献するミッションがあります。現在も多くの先生方が臨床の傍らで研究にも熱心に取り組んでおられますが、基礎的な研究から臨床研究まで、強力に進めていきたいと思っています。

地域連携を強固に、リノベーションも完成へ

秦：北野病院は急性期総合病院として、高度で、先進的な医療を患者さんにお届けする病院です。そのため、高度な医療を必要とする患者さんをご紹介いただいたり、また、急性期を脱した患者さんを地域の先生のもとへお返ししたりする上で地域連携は欠かせません。そこで、登録医制度を導入して、ご紹介をいただいたり、地域に患者さんをお返しする際に先生方とスムーズにつなげるシステムをつくっています。私自身、北野病院に来るまで小さな病院の経験も積みましたので、さまざまな事情



から、患者さんを送らねばならない立場も痛いほどわかります。今後とも、地域の先生方と密に連携していきたいと考えています。

稲垣：リノベーションの方も順調に進んでいますね。

秦：はい。これは吉村前病院長が中心になって先導されてきた計画ですが、継承して行っています。本館が建って20年あまりが経過し、また、当時より患者さん数も飛躍的に増えていることから、機能性や快適性の面で充実させるための整備をしています。最新の検査機器を導入したハイブリッド手術室などの導入も進めており、2023年の夏には全面完成する予定です。

新体制での新たな決意。 そして100周年へ向けて臨む。

100周年に向けての大切にしたいこと

稲垣：2025年11月に創立100周年を迎えます。北野病院にかかりたいという患者さんはたくさんおられ、また、研修医が働きたくなる病院の関西No.1という評価も



いただきました。すべては先人のご尽力・ご努力によって、これだけ発展してきたと思います。我々はそのにあぐらをかくことなく、次の100周年に向けて、常に原点に立ち戻り、医学研究所北野病院設立の趣旨を理解しながら、患者さん、医療のニーズに応えられるように刷新し、前進していかなければならないと思います。秦病院長と一緒に、二人三脚で進めてまいります。

秦：100周年の節目に向けて原点に戻り、病院創立に寄与していただいた田附さんの言葉を、みんなであらためてかみしめたいですね。そして、最良で最善の医療を提供するためにも、職場環境ももっと良くしていきたいと考えています。自由な意見がスタッフからどんどん出て、それが新しい工夫や改善につながる北野病院を稲垣理事長とともにつくっていききたいと思っています。

対談

かんごホットToday

看護部の目線でホットな
医療情報をお届けするコーナーです



患者さんの不安に寄り添って検査介助を行っています

内視鏡室では主に上部下部の消化管の検査・治療を、内視鏡と呼ばれるファイバースコープを使用して行います。ファイバースコープは直径1cm程度の細長い管状の先端にカメラが付いており、胃や腸の中を観察することができます。細いといっても、喉や鼻腔を通るにはある程度の違和感があります。初めて検査を行う患者さんにとっては「苦しくないか」「痛くないか」などの不安が大きい検査だと思えます。もちろん喉や鼻腔にはあらかじめ麻酔を行います。また検査の予約の際に鎮静剤の使用を希望していただければ、点滴から鎮静剤を入れて、うとうとと眠っている間に検査や治療をすることができます。検査終了後は鎮静剤の効果がきれるまで30分ほどリクライニングチェアでゆっくり休んでいただけます。



気兼ねなく 看護師にご質問ください

検査中は患者さんの背中をさすり、声をかけるなど些細なことですが、できる限り苦痛を少なくし、不安なく検査・治療を行っていただけるようスタッフ一同心がけています。検査前に不安に思うことは、気兼ねなく看護師にご質問ください。

健康のヒント あれこれ

あれこれ紹介します。
管理栄養士だから知っている!?
管理栄養士からアドバイス!

管理栄養士ならではの
健康情報や豆知識、
食べ方のワンポイントなど、



知っていますか？フレイル

「フレイル」とは「年をとって体や心の働き、社会的なつながりの弱くなった状態」を指します。そのまま放置すると要介護状態になる可能性があります。早めに取り組むことでフレイルの進展を予防し、健全な状態に戻る可能性があるといわれています。できることから始めませんか？

こんな症状ありませんか？

- ・おいしくものが食べられなくなった
- ・疲れやすく何をするのも面倒
- ・体重が以前より減ってきた

▶ご自身の状況を確認することができます



フレイル予防

「食事」「運動」「社会活動」が予防の3本柱です。

食事(栄養)

活力の源です。3食しっかり食べましょう。



運動(身体活動)

ウォーキングやストレッチなど今より10分多く体を動かしましょう。



社会活動(社会参加)

趣味やボランティア、生涯学習など自分に合った活動で良いので、なるべく外出しましょう。



＋ 口腔ケア

65歳以上の方は口腔ケアも行い、お口のフレイル(＝オーラルフレイル)も防ぎましょう。



65歳以上

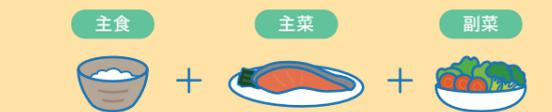
食事での対策

無理なく市販の惣菜や缶詰、レトルト食品などを活用しながら取り組みましょう。

1 3食しっかりととりましょう



2 1日2回以上は、主食・主菜・副菜を組み合わせてみましょう



3 いろいろな食品を食べましょう (10食品群から1日7種類以上目標)



栄養部 管理栄養士 京面 ももこ